

快適な在宅ワークのためのPCとは 在宅ワークの生産性が上がる 今選ぶべきPCの要件とは

テレワークへの急激なシフトを背景に、従業員からPCに対する不満の声が上がるようになった。在宅ワークでも快適に業務を遂行するには、どのようなPCを選ぶべきか。選定ポイントを確認したい。

	1000	1000	1250	1250	1500	1500	1750	2000	2500
	200	250	300	350	400	400	350	350	300
	\$19.99	\$19.99	\$19.99	\$19.99	\$19.99	\$19.99	\$19.99	\$19.99	\$19.99
	\$14.99	\$14.99	\$14.99	\$14.99	\$14.99	\$14.99	\$14.99	\$14.99	\$14.99
	\$49.99	\$49.99	\$49.99	\$49.99	\$49.99	\$49.99	\$49.99	\$49.99	\$49.99
			-4%	-5%					
			0%	20%			0%		
	5%	5%	17%	14%			0%	5%	4%
	-33%							14%	25%
	33%							0%	-14%
* Unit Price)									
	\$10,495	\$11,494	\$10,995	\$10,495	\$10,495	\$10,495	\$10,495	\$10,495	\$10,495
	\$14,990	\$18,738	\$18,738	\$22,485	\$22,485	\$22,485	\$26,232	\$29,980	\$37,475
	\$9,998	\$14,997	\$17,497	\$19,996	\$19,996	\$19,996	\$17,497	\$17,497	\$14,997
	\$35,483	\$45,229	\$47,229	\$52,976	\$52,976	\$52,976	\$54,722	\$58,971	\$64,466
	\$4.50	\$4.50	\$4.50	\$4.50	\$4.50	\$4.50	\$4.50	\$4.50	\$4.00
	\$3.10	\$3.10	\$3.10	\$3.10	\$3.10	\$3.10	\$3.10	\$3.10	\$3.10
	\$1.55	\$1.55	\$1.55	\$1.55	\$1.55	\$1.55	\$1.55	\$1.55	\$1.55
- Unit COGS)									
	\$15.49	\$15.49	\$15.49	\$15.49	\$15.49	\$15.49	\$15.49	\$15.49	\$15.49
	\$11.89	\$11.89	\$11.89	\$11.89	\$11.89	\$11.89	\$11.89	\$11.89	\$11.89
	\$48.44	\$48.44	\$48.44	\$48.44	\$48.44	\$48.44	\$48.44	\$48.44	\$48.44
COGS or Margin Per Unit * Units Sold)									
	\$8,132	\$8,520	\$8,907	\$8,520	\$8,132	\$8,132	\$8,520	\$8,907	\$9,500

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大を契機にした、2020年4月の緊急事態宣言から約1年がたった。多くの企業が在宅ワークへのシフトを進めてきたが、その中で従業員の業務環境における課題が浮き彫りになってきた。

富士通が情報システム部門を対象にしたアンケートにおいては、在宅ワークの導入後に、PC画面の大きさやバッテリーの持ち時間、キーボードの使い心地、周辺機器とつなげるUSBポートの数といった「PCのユーザビリティ」に関してビジネスパーソンが課題を感じている様子がうかがえた。

中でも、全体の約2割はPCの画面が小さいことに苦慮しているようだ。オフィスの据え置き型PCに慣れ親しんだ人であれば、可搬性を重視した画面の小さいモバイルPCに対し操作性の悪さを感じることもあるだろう。在宅ワークでもオフィスと同様に業務を進めるためには、従業員のためにどのようなPCを選択すべきなのか。PC選びの新基準についてプロに聞いた。

在宅ワークにおけるモバイルPCの限界

コロナ禍で在宅ワークが一気に普及し、ノートPCの中でも可搬

性を重視したモバイルPCで仕事をするシーンが増えた。従来オフィスで使用していたPCよりも画面の小さいモバイルで仕事をせざるを得ない人が増え、不満が膨らんでいると富士通の中野翔子氏 (CCD事業統括部 プロダクトマネジメント部) は語る。

「コロナ禍以前から、企業によっては社外で作業をする営業担当者向けにコンパクトなモバイルPCを貸与していました。そこへ2020年4月に緊急事態宣言が発令され、これまで社内業務を完結させていた従業員にも在宅ワーク用のPCを貸与せざるを得なくなりました。企業によっては、業務内容を十分に考慮する余裕もなく、可搬性を重視した営業職と同様のモバイルPCを購入したのではないのでしょうか。画面が小さいモバイルPCでは業務に支障をきたすという従業員もそのまま使わざるを得ず、今もその状況が続いていると考えられます」(中野氏)

富士通が情報システム部門を対象に実施したアンケート調査においても、在宅ワークを導入して気付いた課題として、「PC画面が小さい」ことが挙がった(図1)。

中野氏によれば、オフィスでの内勤業務では、デスクトップPCを利用するのは少数で、15.6型のノートPCを使うかサブディスプレイの大画面モニターを接続して使うことが一般的と言われる。15.6

Q9 1年前と比較し重視度が高まってきている

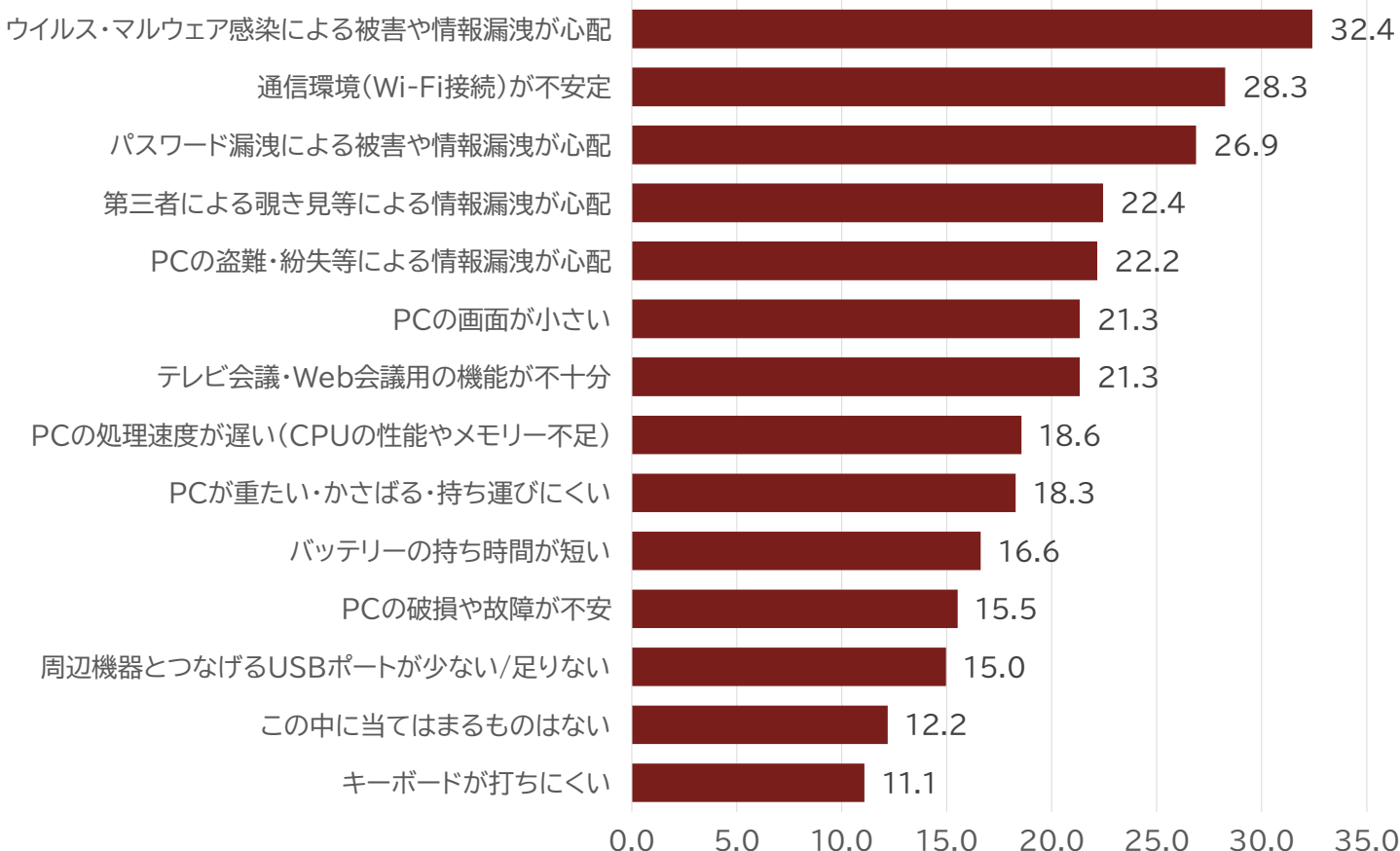


図1 1年前と比較して「重視」しているPC利用環境における課題(出典:富士通の2021年3月調査結果)

型の画面サイズは13型と比較して約1.4倍大きく、「Microsoft Excel」など、画面を上下左右にスクロールするドキュメント編集作業にも向いている。

だがオフィスで使うことを想定したノートPCは、厚みが30ミリ程度、重量も2キログラム以上あり、気軽に持ち運べるものではない。

オフィスで15.6型のPCを使っていた人が13.3型のモバイルPCで作業をすると、操作性の悪さを感じるだろう。特に、小さな画面では表計算やグラフ作成などの入力フィールドが大きな資料作成や複数画面での操作にストレスを感じる。

「Windows 10には、2つのウィンドウを並べる機能があります。しかし、13.3型以下の画面で2つの『Microsoft Word』文書を並べても、内容を見比べるのは厳しいと思います」(中野氏)

それならば、自宅ではモバイルPCに外付けのサブディスプレイを接続すればいいという考え方もある。しかし、全ての家庭でテレワークスペースを確保できるわけではない。ダイニングテーブルで作業する場合は仕事が終わったらサブディスプレイを片付ける必要があり常設しにくいのだ。やはり、画面の大きいノートPCを使うことが有効な解決策になる。

とはいえ、ただ画面が大きいPCを選べばよいというものではない。コロナ禍が長期化する中で、在宅ワークとオフィスワークを日替わりで実施する企業も増えている。この場合、1台のPCをオフィスでも自宅でも使う必要があり、いくら画面の大きいPCの使い勝手が良いとしても、その持ち運びに苦勞することになるだろう。

このような状況で、富士通は「テレワーク時代に対応する新しいタイプのPCが求められている」と考え14型と15.6型の軽量薄型ノートPCを開発した。それが「LIFEBOOK U7411」と「LIFEBOOK U7511」だ。在宅ワークを基本に、時々オフィスに出社するスタイルの働き方に合致していると中野氏は話す。

快適な在宅ワークの新基準を満たすノートPC

LIFEBOOK U7411の画面サイズは14型、LIFEBOOK U7511が15.6型だ。重量は、14型モデルの場合、数年前の13.3型PCの標準的な

重さである1.2キログラムを目指した。

「画面サイズが大きくなると必然的に重量は増えますが、1.2キログラム程度の重さであれば持ち運びも可能です。大画面であることと軽量薄型であることを両立させられると考えました」(中野氏)

実際の製品は目標を上回る軽量化を実現し、14型モデルで1.12キログラムを達成。15.6型モデルは1.32キログラムで、従来の15.6型PCが約2キログラム以上だと考えると大幅に軽量化されている。「15.6型のPCでこの軽さを実現しているのは法人向け製品では他にはありません」と中野氏は語る。画面サイズは大きいですが、縁をギリギリまで細くした狭額縁設計によって本体サイズはコンパクトにまとまっている。厚みも14型モデルは17.9ミリ、15.6型は18.1ミリと薄く、ビジネスバッグにも入れやすい。

「オフィスで使われている15.6型のノートPCは、筐体にプラスチック樹脂を使用することが一般的です。しかしそれでは軽量化、薄型化は難しい。そこで、金属を使うことを前提に開発しました。本製品では筐体にマグネシウム合金を用いて軽量化、薄型化を実現するとともに、ボディーの剛性を確保しています」(中野氏)

ビジネスPCとして考えられた数々の機能

本機種は、薄型軽量を実現しながら、ビジネスPCとしての使い勝手を犠牲にしていない。特にテレワーク導入時の最大の課題であるセキュリティ対策として、ウイルス・マルウェアによるBIOSへの攻撃や異常を素早く検知し修復する機能「Endpoint Management Chip (EMC)」を標準搭載している。

また周辺機器との接続として、HDMIや有線LAN端子、Thunderbolt™ 4、USB 4 (Gen3)対応のType-Cコネクタを2ポートとUSB 3.2 (Gen1) Type-Aコネクタを3ポート(14型モデルのU7411は2ポート)標準搭載しているので、薄型PCで必要になりがちな特殊な接続ケーブルを持ち歩く必要がない(図2)。

長時間の作業でもユーザーが疲れを感じにくいよう、キーボードはフルサイズのキーピッチを確保した。キーのストロークも約1.7ミリと、薄型筐体のノートPCとしては十分に深く、入力しやすい

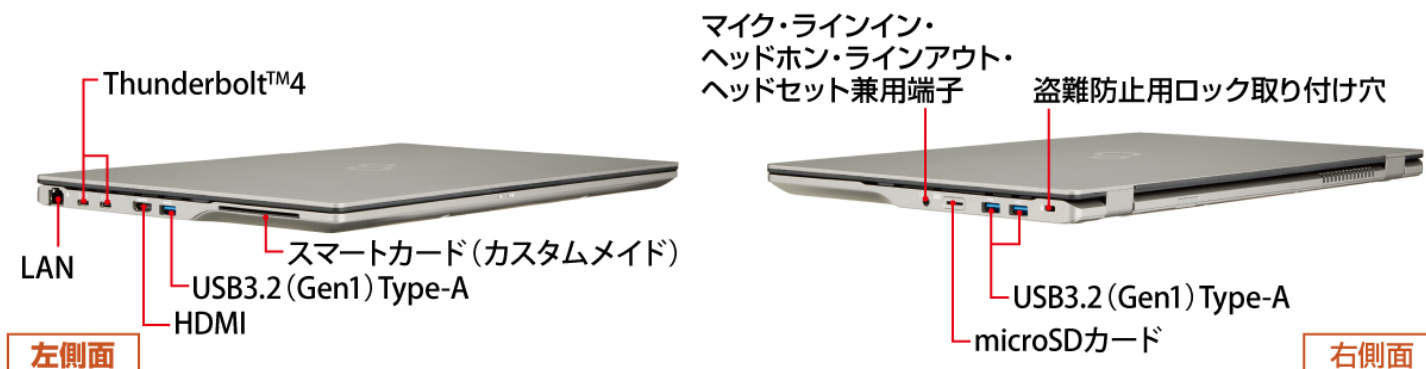


図2 さまざまなインタフェースを装備(写真は15.6型のU7511)

い。15.6型モデルはテンキーも配置しており、数字を頻繁に入力するユーザーにとっても使い勝手が良い(図3)。

「単純に軽量化するだけならインタフェースや機能を削ればいいので簡単です。キーボードのストロークを浅くすれば厚みを抑えることができます。しかし、自宅ではノートPC1台で全ての仕事をすると想定すると、機能や使い心地に妥協してはいけなと考えました」(中野氏)

バッテリー駆動時間も気になる点だ。本製品は画面が大きいことの副産物として、大容量のバッテリーを搭載できる。だが活用シーンを考えると、オフィスや自宅以外の電源コンセントのない環境で使われることはそれほど多くないと予想できた。標準バッテリータイプ(駆動時間が14型モデルのU7411は約17.0時間、15.6型のU7511は約15.0時間)と大容量バッテリータイプ(U7411は約23.0時間、U7511は約20.0時間)を用意し、利用シーンに合わせた選択が可能だ。

「誰でも簡単にバッテリーを交換できるようにしました。モバイルPCのバッテリーは、使っているうちにどうしても劣化します。バッテリーを取り外し式にしたことで、情報システム部門などに頼ることなくユーザー自身が簡単に交換できます」(中野氏)。ユーザーの業務を停止させず、企業のPC管理者の負担を大きく減らせる。

テレワーク時代のPCに求められる新しい基準をクリアし、数々の特徴を備えた富士通のLIFEBOOK U7411とLIFEBOOK U7511は在宅ワークにおけるビジネスPCの本命と言えるだろう。

中野氏は最後に、企業のPC導入について次のようにアドバイスした。

「本格的なテレワーク時代が到来して、さまざまな場所で業務を実施するケースが増えました。各業務と作業環境に合ったPCを選ぶことが生産性向上に直結します。従業員一人一人に最適なPCを選んでほしいと思います」(中野氏)



図3 テンキーを完備

大画面のPCは重くて持ち歩けない、そんな常識を軽々と変えていく。 LIFEBOOK U7シリーズ。

生産性を高める大画面(14型・15.6型)でありながら、持ち運びに便利な軽量タイプのLIFEBOOK U7シリーズ。オフィスワークから在宅ワークまでシームレスな働き方が実現します。また、ウイルス・マルウェア対策、データ保護、確実な本人認証で、在宅ワークでのセキュリティ対策も備えています。

14 型スリムモバイル

LIFEBOOK U7411



15.6 型スリムモバイル

LIFEBOOK U7511



FUJITSU Notebook LIFEBOOK U7シリーズは、インテル® Core™ i5 vPro® プロセッサ搭載(詳しくはこちら)

在宅ワークでストレスなく快適かつセキュアに作業をするには、第11世代インテル® Core™ i5 vPro® プロセッサ搭載機種をお薦めします。購入のご相談は、富士通または販売パートナーまでお問い合わせください。

※この冊子は、TechTargetジャパン(<https://techtarget.itmedia.co.jp/>)に2021年6月に掲載されたコンテンツを再構成したものです。
<https://techtarget.itmedia.co.jp/tt/news/2106/18/news03.html>

Copyright© ITmedia, Inc. All Rights Reserved.

お問い合わせ先

〔購入相談窓口〕 通話料無料 0120-959-242

受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日、当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

※富士通パートナー及び弊社担当営業から購入を希望されるお客様は、直接担当者へお問い合わせください。

Copyright 2021 FUJITSU LIMITED